

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 6 月 9 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024 年 4 月 28 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utha University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 4 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～4 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	6000 人
創立年	1897 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル \$)	日本円	備考
授業料		円	交換留学生のため該当しない
宿舍費	3500	52 万円	寮(シダーホール)
食費	5000	75 万円	学食が一年で 3000ドル スーパーでの買い物が 2000ドル
図書費		円	
学用品費	2000	30 万円	日用品、教科書、電化製品
携帯・インターネット費	120	3 万円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1400	21 万円	形態: 明治大学からの保険
渡航旅費	1300	20 万円	
ビザ申請費	300	4 万円	
雑費	3000	45 万円	旅行など
その他		円	
その他		円	
合計	14820	240 万円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:ラスベガス 経由地:ハワイ

復路 出発地:ラスベガス 目的地:成田 経由地:ロサンゼルス

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:ハワイアン航空 料金:12 万円

復路 航空会社:デルタ航空 料金:8万円 ∴合計:20 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名:トリップ.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前:シダーホール) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数3)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学先大学からの案内

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

最初はシダーホールではなく、個室のアパートなどを探していたが、空きがなくシダーホールを選択した。
結果的にシダーホールにして良かったと心から思う。
この寮はキッチンフロアがあり、そこで友人と夕食を作ったり夜食を作った。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

南ユタ大学周辺はとても治安が良く、一度も防犯面を気にしたことはない。
また、大学付近で非常事態が発生すれば、大学から SMS が送られてくる。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では WIFI が無料で使え、大学内でも WIFI が飛んでいる。また、留学初日のオリエンテーションで紹介される Mint mobile を契約しておけば問題はない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードで決済していた。キャッシュが必要な場合は、キャッシュカードで ATM から引き落とししていたが、キャッシュが必要になる場面はあまりない。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ほとんどのものは現地で調達可能だが、金額が日本の 1.5 倍～3 倍になっているので注意。
化粧品は日本人の肌に合うものが少ないので持参すべき。
花粉症の場合、春先はかなり花粉が飛ぶので日本で使い慣れているものを持っていくと良い。

限られたキャリーケースの容量にお菓子や調味料、電化製品などを入れるのは勿体無い。防寒着や肌着 (特にヒートテック) を優先的に持っていくべきだと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に日本のクレジットカードで決済した。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Acculturation	文化
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回
担当教授	Tevita Sekeni
授業内容	アメリカでの暮らし方や、シダーシティについて学ぶ。また、トラブルがあった時どのように対処すればいいのかを一通り教えられる。
試験・課題等	エッセー、クイズ
感想を自由記入	留学生は必須のクラスで、他に履修している学生も留学生なので、友人がたくさんできる。参加したイベントの写真をアルバムにし、提出するのが最終課題で、終始楽しいクラスだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Film		映画基礎
科目設置学部・研究科	Theater	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Richard Bugg	
授業内容	映画とはなにか、どのような種類があるのかを学び、その歴史を中心にアメリカ映画の魅力を深ぼっていく。	
試験・課題等	毎週のクイズ、テスト2回	
感想を自由記入	この基礎授業は、映画の撮影技法を学んだり実際に映画を撮影したりはしない。私は、この基礎授業ではなく、アドバンスコースを履修したかったが、フレッシュマンの留学生は履修ができなかった。そのため、教授に懇願し、この基礎授業を履修することで、アドバンスコースに参加することを許可してもらった(履修はできないので単位はもらえないが)。アドバンスコースは、映画を鑑賞し、討論し、最後に映画撮影ができる素晴らしい授業だったので、履修はできないが教授に相談すれば参加させてくれるかもしれない。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
PE 1125		ピククルボール
科目設置学部・研究科	health	
履修期間	秋	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面参加(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Jeremy Waite	
授業内容	ピククルボールという、アメリカで流行しているテニスに似たスポーツを学ぶ。	
試験・課題等	ピククルボールに関するクイズ。技能テスト	
感想を自由記入	どうしても運動不足になりがちなので、週に3回、このピククルボールの時間に汗を流していた。多くの友人もでき、楽しかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing Principles		マーケティング基礎
科目設置学部・研究科	Business	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が3回	
担当教授	Travis Simkins	
授業内容	マーケティングに関する基礎知識を講義形式で学ぶ	
試験・課題等	毎週のクイズ、期末試験	
感想を自由記入	マーケティング系の授業を履修したいのなら、まずこの授業を履修しないと他の授業を履修できない。しかし、学習するレベルは本当に基礎レベルで、き本的な用語やフレームワークの解説がほとんど。すでに明治大学で一通り同様の分野を学習しているのであれば、退屈に感じると思うが、教授は非常に素晴らしいので、数ある同じ名前の授業でもこの教授が一番おすすめ。 私はどうしても次の春にマーケティングのレベルの高いコースを受講しなかったことで、マーケティング専門の教授、数人とコンタクトを取った。結果、この教授は、この授業を秋に履修することで、次の春にマーケティングのレベルの高いコースに参加することを許可してくれたので、秋の時点でこの授業を履修した。一年しかいない留学生が、高いレベルのマーケティングを学ぶならこの方法しかないと思うので、一度この教授にコンタクトを取ると良い。(高いレベルの授業は、参加はできても履修はできないので、単位はもらえないので注意)	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Entrepreneurship Speaker Series		ゲストスピーカーが提案する起業家精神
科目設置学部・研究科	Entrepreneurship	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に75分が2回	
担当教授	Landon Smith	
授業内容	週に一度のゲストスピーカーによる講義と、週に一度の教授の座学	
試験・課題等	リアクションペーパーを毎週提出。期末テストあり。	
感想を自由記入	アメリカの起業家が来て、企業のノウハウから成功の秘訣などを講義形式で学ぶ。また座学では、アメリカの起業の現状からシステムなどを学習する。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	入学
	8 月 ~ 9 月	留学を検討
	10 月 ~ 12 月	留学の手続きと TOEFL の勉強
留学開始年	1 月 ~ 3 月	留学先大学への願書の提出や寮の手続き
	4 月 ~ 7 月	ビザの取得、授業登録
	8 月 ~ 9 月	渡航
	10 月 ~ 12 月	留学先の生活に慣れてくる
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	勉強や課題に追われる
	4 月 ~ 7 月	帰国
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は日本では体験できないことをしたいと思って留学先を探し、南ユタ大学を選びました。南ユタ大学のあるシダーシティという場所はかなり田舎です。多くのお店は午後 8 時には閉まってしまい、娯楽施設などはほとんどありません。移動手段は車がなければ徒歩です。東京のように便利で欲しいものがすぐに手に入り、やりたいことがすぐにできるような場所ではありません。ですが私はこの留学先を選んで本当に良かったと思います。多くの学生は、そこに何もないからこそ、学生が主体となってイベントを開いたりキャンプに行ったりと、自分たちで何か楽しめることを探します。だからこそ、必然的に学生同士の距離は近くなり、日本の大学では考えられないくらいの充実した暮らしが待っていました。また、留学していて驚いたのは、留学先で過去に明治から留学していた先輩たちが、既に良い雰囲気を残していつてくれているということです。例えば、自己紹介をして日本から来たと言うことを伝えと、かなりの確率で、明治の先輩の誰かの友達だったりします。そこから話の幅が広がったり距離が縮まったりするので、かなり恵まれた環境で生活していたように思います。

勉強面ですが、私は単位のことはほとんど考えず自分の興味のある授業に参加していました。理由は2つあります。

1つ目は、交換留学生はフレッシュマン(1学年)の扱いなので、基本的な授業しか選択することができません。そのため、履修できる授業は明治大学と同じように教養科目が多く、希望の授業は履修できませんでした。

2つ目は、留学先大学と明治大学の単位変換を考えると、留学先大学で単位を取得してもあまり意味がなかったからです。私は留学前に明治大学で必要な教養科目の単位数を取得していたため、単位変換で教養科目に変換されても意味がありませんでした。

このようなことから、自分の興味のある授業を履修はできませんが参加して勉強していました。

これは、自分の中で本当に良い判断だったと思います。好きな授業や興味のある授業に好きなだけ参加することができました。また、履修をしていなくても多くの教授は快く質問を受け付けてくれたり、個別に相談する機会をくれたので、ある意味留学生の特権だと思います。

このような経験から、知識の幅や、考え方の視野がかなり広がり、いい経験ができたと心から思います。

留学を志す人へのアドバイスですが、私は留学する目的が明確になっけなくても全然問題ないと思います。なんとなく留学がしたい、なんとなく留学に憧れるなど、明確ではない動機を持って留学している人はたくさんいます。とりあえず行動してみてもダメだったら次を考える。そんな行き当たりばったりの方法でも、私のようになんとかなるので、夢を狭めないでください。